

中央公民館

H29年度	貸出可能コマ数	貸出数	稼働率	備考
1F集会室	900	445	49.4%	一番奥の広い部屋
1F多目的室	900	179	19.9%	シンクがある部屋
2F小会議室	900	250	27.8%	階段を上ってすぐ
2F大会議室	900	274	30.4%	
2F和室				

あざさ苑

H30年度途中	貸出可能コマ数	貸出数	稼働率	備考
1F 会議室			68.0%	奥の部屋
1F 栄養指導室			18.0%	調理器具のある部屋
2F 和室			24.0%	
2F 研修室			74.0%	一番大きな部屋
2F ボランティア室			49.0%	1F会議室の上

データから予測できること

- ・一番大きな部屋が一番稼働率が高い。
- ・机と椅子を取り除けば、広いスペースとして、体操やダンスに使えることも高稼働率の要因ではないか。
- ・中央公民館1F集会室やあざさ苑の研修室くらいの広さでなく、おかげ会館一階の部屋くらいのスペースが適切ではないか
- ・多目的室、栄養指導室では、机が備え付けで目的を固定してある部屋であり、稼働率は低くなっているのか？

中央公民館を壊して、建て替えるとのことであるが、本当に建て替えが必要か予測。
中央公民館を利用している団体が、あざさ苑を借りることと想定し、稼働率を推定する。

広さと部屋の機能で区分すると、中央公民館の1F集会室があざさ苑の研修室に、多目的室が、栄養指導室に対応。残りの小会議室、大会議室をあざさ苑の会議室とボランティア室に対応すると仮定する。
(大会議室を、研修室に対応させることも必要と思われるがここでは上記のように設定)

中央公民館の利用があざさ苑に移行したと仮定した稼働率

	(%)
1F集会室 + 研修室	123.4
1F多目的室 + 調理室	37.9
2F小会議室 + 会議室	95.8
2F大会議室 + ボランティア室	79.4

単純に同じような用途に使えるような部屋の稼働率を足しただけなので、一概に言えないが、調理のできる部屋をのぞいては、稼働率が約80%を超え、希望の日時、曜日に部屋を取ることは出来なくなると予想されます。

一番稼働率の高い部屋に関しては、あざさ苑だけでは補えないことが容易に想像できます。

結論：

公民館の代わりになる施設は現状の住民サービスを維持するためには必要。
既存の中央公民館の利用者を吸収する施設は、あざさ苑だけでは足りず、何らかの対策が必要